

次世代モビリティの推進／スマートシティの推進

- 新技術や官民データの活用等により、誰もが安心・安全かつ効率的な「移動」ができ、市民のくらしが向上する、持続可能な「まちづくり」を実現
- 時間的・空間的制約から解放され、新たな「自由時間」を活かした充実したヒューマンライフを実現

新技術

Society5.0の推進に資する近い将来に実装が見込まれる**多様な先端技術**

AI IoT 自動運転 準天頂衛星 5G
ロボット ドローン FinTech ブロックチェーン 等

Society5.0

地域課題の解決や豊かなくらしの実現に向けて、 新技術やデータを活用した分野横断の取組を推進

課題例：地域コミュニティ(医療・福祉・商業施設等)へのアクセス確保
早期の避難につながる災害情報の充実
最適なエネルギー供給・活用 等

先端的モデル事業、ルール整備等により、新たなサービスを社会実装

データ

Society5.0の推進に活用されるビッグデータ(**幅広い分野の豊富なデータ**)

- 地図・地形データ
- 施設・構造物データ
- 気象データ
- エネルギーデータ
- 交通(人流)データ
- 防災データ 等

自動運転の実現

- 交通事故の削減、高齢者等の移動支援に
- 交通・物流サービスの担い手不足の解消に

⇒2020年目途に**限定地域での無人自動運転による移動サービスを実現**
⇒2025年目途に**高速道路での完全自動運転を目指す**

グリーンスローモビリティ

- 高齢者等の安全安心な移動手段に
- 観光客の利便性の高い周遊手段に

⇒2020年度までに**全国50地域で実装**
⇒2025年度までに**全国での定着を目指す**

MaaS

- スマホだけで観光や交通等の一括手配が可能に
- オンデマンド配車でDoor to Doorの移動を即時手配

⇒本年度の**モデル事業等を通じ、ガイドラインを作成**
⇒2023年度までに**全ての都道府県での展開を目指す**

リアルタイム交通案内

- 予測を含むリアルタイム・多言語の交通案内
- 空き駐車場等の案内が可能に

⇒リアルタイム交通データの**整備手続きや事例集により、全国での普及加速**

防災・減災

- いつでもどこでも防災情報を入手可能に
- 最適な避難誘導を実現

⇒2020年度までに**センサー設置の推進と災害情報のリアルタイム共有を目指す**

スマートアイランド

- 遠隔授業やドローン配送により生活が便利に
- 円滑な島内移動を可能に
- 観光周遊ナビゲーションにより島内混雑を緩和

⇒本年度より**先駆的な取組を実施し、全国での定着を目指す**

公共サービスの最適化

- 公共施設立地や交通サービス等を最適化

⇒**人流データ活用等の、全国での普及加速**

ドローン

- 物理的制約を越えた荷物配送が可能に
- 災害状況等の即時把握が可能に

⇒**本年度中に安全確保に関する基本方針策定**
⇒**2022年度目処に有人地帯での目視外飛行を目指す**

下水熱イノベーション

- 各地域で自動制御の融雪や冷暖房が可能に
- クリーンエネルギー(下水熱)の活用により環境負荷を低減

⇒**モデル事業等を実施し、全国での展開を目指す**

持続可能な地域交通の確保

- 公共交通ネットワークの再編

⇒**独占禁止法より柔軟な適用に向けて、2020年の制度改正を目指す**

インフラメンテナンス2.0

- 新技術や蓄積した膨大なデータを積極的に活用し、インフラメンテナンスの高度化・効率化を可能に

⇒**2030年度までに全国の施設管理者におけるインフラ点検等の新技術等の導入を目指す**

エネルギーマネジメント

- 街区単位、住宅・建築物単位でのエネルギー供給を最適化し、環境負荷を低減

※CGS:コージェネレーションシステム
⇒**2013~2030年度に新築された住宅・建築物に係るエネルギー消費量を約647万kL削減(パリ協定の目標達成)**